

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	35-1
PDCA	主要事業名	新美南吉童話賞事業	部課名	新美南吉記念館	担当	竹内		
					内線	26-4888		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承							
	全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 3,198 千円							
	会計		一般会計		歳出科目： 09.05.07.05.01			
	事業概要等	事業概要： 創作童話を広く募集する。自由創作部門と新美南吉オマージュ部門の二部門で募集し、一次・二次審査を経て優秀な作品を表彰する。受賞作品は入選作品集「赤いろうそく」として発刊、全国の図書館や関係各所へ配布する他、記念館で直接販売や通信販売も行う。入選作品とともに童話賞をさらに全国発信していく。						
		事業目的： 南吉作品の普及と南吉顕彰を進め、ふるさと半田への関心を深めるとともに、児童文学の振興に寄与する。						
		事業内容： 南吉生誕110年を記念した新美南吉童話賞の応募数増を期したPR、情報発信及び入選作品集「赤いろうそく」の充実とともに、将来も持続可能な審査体制の確保に取り組む。						
		問題点・課題等： 創作の楽しさと南吉作品の魅力をさらにPRすること、また持続可能な審査体制を確立する必要がある。						
	予算額	主要事業とする理由						
	3,198 千円	新美南吉記念館の対外的事業として、投入する労力・予算両面において、企画展と童話賞を2本柱としているため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費	多くの方が新美南吉と作品及び南吉のふるさと半田への関心を持ち、児童文学の振興へと繋がる。						
	2,635 千円							
	国費							
	0 千円							
	県費							
	0 千円							
その他								
563 千円								
D 得られた成果と実績値	決算額	得られた成果						
	3,170 千円	応募数は昨年度より減少したものの、県内7名（うち半田市3名）が入賞し、中日新聞県内版や知多版でも関連記事が掲載され、当童話賞の知名度向上と南吉顕彰につなげることができた。						
		成果指標						
				令和5年度	単位			
	新美南吉童話賞応募数	実績値	1,569	編				
		目標値	2,000	編				
C 課題の整理	事業の評価・課題	応募数は減少したものの、特別審査員より、入賞作品はもとより、各部門の一次審査通過作品についても粒揃いとの高評価を得た。また入選者18名のうち市内から3名の方が入賞した。令和4年度より応募資格を商業的に出版したことのない方に限るとしたことの影響があつたか、自由創作部門一般の部とオマージュ部門の応募数が減少傾向にあるが、賞金目的ではなく、新美南吉の名を冠する賞に価値を見出している方からの応募を頂いていると捉えている。市民からの応募数が伸びていないため、持続的に応募数を増やすことが課題である。						
A 課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進 令和6年度（第36回）より、郵送・持参に限っていた作品の応募方法にロゴフォームを加える。応募者はパソコンで原稿を書く方が大半であり応募しやすくなり、応募数の増加が期待される。今後もオマージュ部門の浸透を図り、南吉作品の普及と顕彰につなげる。						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない	
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	減余地	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		